

ゴッぽがわら

広報

平成6年



11.15 No.819

人口と世帯

10月31日現在 () 内は前回は、男23,735(+29) 女26,285(+16) 計50,020(+45) 世帯16,972(+34)

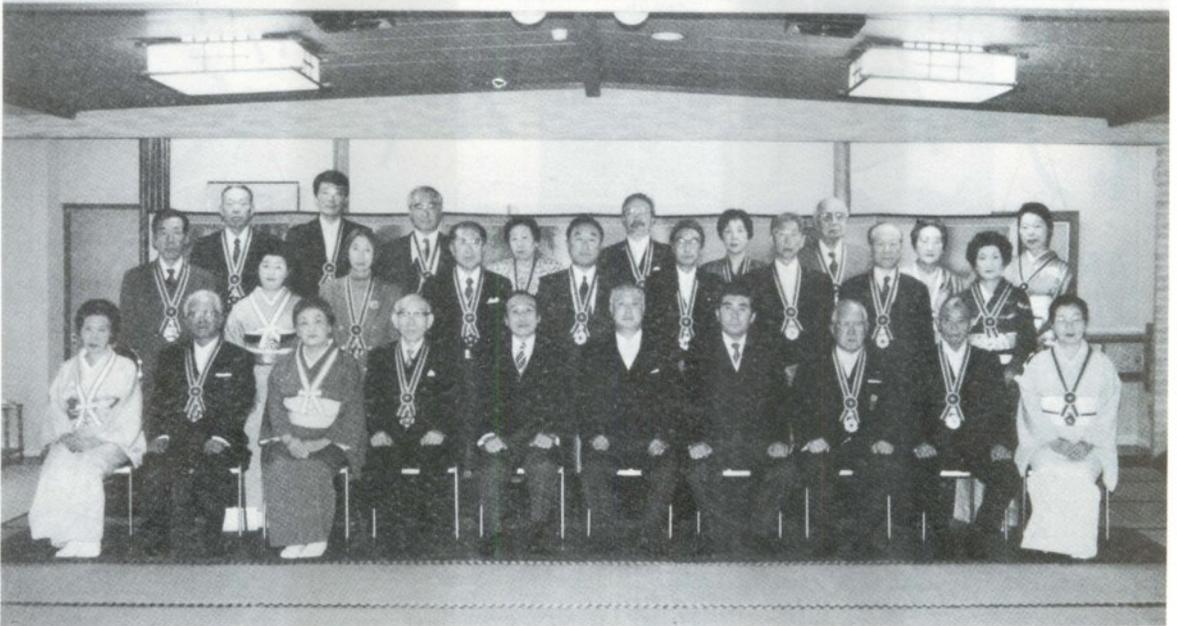


毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

一年生の、家族大すきシリーズ⑬ (家族のことは 14ページ)

貢献

市褒賞表彰式



市では文化の日の十一月三日、市内大町のレストラン藤吉郎で、市の文化・教育・市政発展等に特に優れた功績を表した方を表彰する、平成六年度市文化褒賞・市褒賞並びに内助功労章の表彰式を行いました。

式典には、受賞者をはじめ、佐々木市長、表彰推薦委員、来賓など約百人が出席しました。

今年の受賞者は文化褒賞が十三人、市褒賞が十三人、内助功労章が十七人の計四十三人です。

受賞者が増えたのは、本年度分の功労者に加えて、昭和二十九年十月一日の市制施行当時「存命で、草創期の市政の確立に貢献し、今日の発展の礎となつて、活躍された方々の追褒賞が行われたためです。

(表彰を受けられた方々は、次のとおりです。)

市文化褒賞



和田

あきら

現氏

(七十九歳)

青森市浪打二丁目

一一一〇

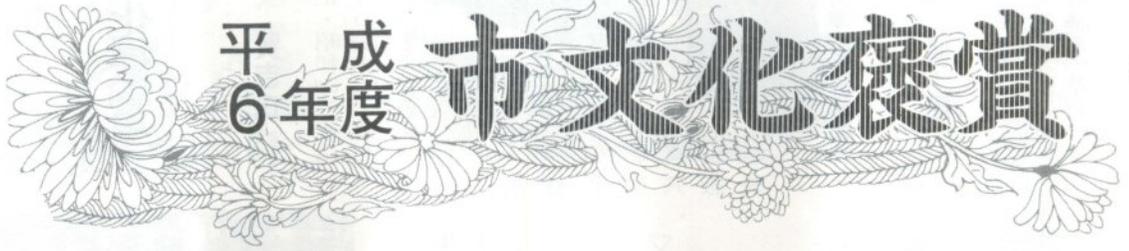
永年にわたり書の道を通じ子弟の育成に努めるとともに、父山蘭が牧水と交わした貴重な書簡と、格調高い遺墨をよく保存して当市に寄贈し、この地文化の振興発展に貢献されました。

内助功労章 澄子さん

地域の発展に

平成6年

市文化褒賞



新谷雄蔵氏
(七十一歳)

市内錦町一五九

教育者として、義務教育の振興に寄与されるとともに、考古学の第一人者として「観音林遺跡」をはじめ、多くの埋蔵文化財発掘調査の陣頭指揮をとり、市史解明に貢献されました。

内助功労章 照さん



藤間綾氏
(六十三歳)

東京都武蔵野市八幡
四丁目二四一七

斯界屈指の藤間流教授藤間くにに師事し、旺盛な研究心で至芸を会得されたのち独立。都に藤間綾道場を開設するとともに、市内に稽古場「綾扇会」をつくり、日本文化の原点とも言うべき古典舞踊の普及発展に貢献されました。

市褒賞



成田弘三氏
(七十七歳)

市内元町二二三

永年にわたり五所川原商工会議所副会頭等の役員を勤め、商工の振興発展に貢献されるとともに、五所川原青色申告会会長として、率先垂範会員に適正な納税を訴え、申告納税制度の普及に大きな足跡を残されました。



高橋永太郎氏
(八十歳)

市内金山字泉田
一一三一

永年にわたり農協活動に挺身し、松島村農業協同組合長や五所川原市農業協同組合長等を勤め、農業の振興に至言を与え、地域の発展に貢献されました。

追褒賞を受賞された 方々は次のとおりです

市文化褒賞

して、漱石、鴎外、藤村、一葉、芙美子等、多彩な評論活動をされました。

▽故・秋田 賢吉氏

明治・大正・昭和の三代にわたり、教育の振興に、また県面壇隆盛に、大きく貢献されました。

▽故・飯塚 良三氏

京都市西京区山田

北山田町三二一
生涯を教育に捧げ、特に国語漢文では、後々の範となるなど、大きな足跡を残されました。

内助功労章 ヤスヨさん

▽故・板垣 直子氏

東京都渋谷区代々木

五丁目五一ー一一
女性文芸評論家の草分けと

▽故・岩谷 青海氏

東京都三鷹市深大寺

一丁目一ー二八
日展に連続十数回の入選を果たし、誠心書道会等を主宰するなど、後進の育成に大きく貢献されました。

内助功労章 のよさん

▽故・葛西国四郎氏

北津軽郡中里町大字福浦

宇松野尾六
子弟の教育に身を捧げる傍ら、教育に関する著書をもに、大きな足跡を残されました。

内助功労章 キエさん

▽故・工藤直三郎氏

青森市大字石江字江渡二三

生涯を教育に捧げ、特に算数教育の権威者として著書をもに、世に問うなど、「教育残筆」を世に問うなど、教育の振興に大きく貢献されました。

▽故・坂本 一義氏

川崎市高津区久本三丁目

六一ー一四〇七
言論界にあって、終始報道の使命を自覚、活躍するとともに、青森県体育協会長として体育の振興に大きく貢献されました。

内助功労章 光枝さん

▽故・鹿内 健三氏

大坂府池田市旭丘三丁目

五一ー二
大阪成蹊女子短期大学学長及び、大阪私立短期大学協会長等、多くの役職を勤め、教育行政の充実発展に尽くされました。

ました。

内助功労章 文子さん

▽故・清水川元吉氏

市内鶴ヶ岡字川袋一五一

角界入りして、全勝優勝をはじめ、東大関に昇進するなど、相撲王国青森の名を全国に高めました。

▽故・吉岡龍太郎氏

青森市浪打二丁目二〇一

算数教育に卓越した手腕を発揮、著書をもに、幾多の名選手を輩出させるなど、スキー王国青森の礎を築きました。

市褒賞

▽故・秋田喜十郎氏

市内大町一五

近代農法を積極的に導入し、稲作農業の礎を築くとともに、北津軽郡会議員、中川村長、県議会議員を勤めるなど、市の発展に貢献されました。

内助功労章 ハルさん

▽故・阿部修四郎氏

東京都杉並区阿佐ヶ谷北

四丁目一三ー一四
大正、昭和にわたり御用林の管理保全に尽くすとともに、東京地方帝室林野局長として、林学の向上に貢献されました。

内助功労章 クニさん

▽故・阿部誠一郎氏

市内羽野木沢字実吉一六

青森銀行取締役、青森県公安委員会委員長等の要職にあり、地域の経済発展と、社会の安寧秩序維持増進に貢献されました。

内助功労章 みささん

内助功労章 トシさん

▽故・小笠原清治氏

市内石岡字藤巻二七・六
農業の振興発展と、農民の
生活上に尽くされるとも

に、三好農業協同組合を、県
下有数の組合に育て、農協組
合史上に大きな足跡を残され
ました。

内助功労章 フヨさん

▽故・佐々木彰造氏

青森市浪打一丁目七・二
「布嘉」四代目として実業
界に君臨する傍ら、終戦時の

五所川原町長として功をあげ
るとともに、自動車業界に進
出し、産業経済の発展に貢献
されました。

内助功労章 貞さん

▽故・楠美和右衛門氏

青森市千刈四丁目

一四・一四

七和村助役、村長として、
住民参加の先駆的な村政を展
開、模範村七和の村勢伸展に
貢献されました。

内助功労章 ユミさん

▽故・沢田 長助氏

市内一ツ谷七六一五

「澤長」の三代目として、

二十五年間の町議会議員のほ
か、消防団長、市農業会会長
として活躍、更に津軽鉄道、
津軽酒造等の経営に参画、郷
土発展に貢献されました。

内助功労章 うめさん

▽故・小嶋 久雄氏

市内敷島町一・四

岩木川治水に生涯を捧げ、
十三湖干拓の礎を築き、西北
五地方の水防と稲作農業の振
興に貢献されました。

▽故・長尾 行介氏

東京都杉並区南荻窪

一丁目二三一六

東京帝国大学卒業後、米国
へ雄飛、大規模農業を実践す

る傍ら、異国での邦人の地位
向上に尽くし、帰国後は、農
政発展に貢献されました。

▽故・原 治三郎氏

市内新宮字岡田一〇七

農林省技官として、穀物検
査の新技法や品種改良に功を
挙げるとともに、剣の道では
直心影流を極め、更に日本画
の地方画壇隆盛等、多方面に
わたり貢献されました。

内助功労章 さださん

▽故・松本與三郎氏

市内下岩崎字葛ノ森三四

陸軍憲兵中佐として功をあ
げた後、飯詰村議会議員、飯
詰村長を勤め、更に市議会議
員、市議会議長に就任、地方
自治の振興に貢献されました。

内助功労章 キヨさん



創立十周年を迎え

さらなる飛躍を誓う

青森職業能力開発短期大学校



10周年を祝い
あいさつを述べる戸澤校長

青森職業能力開発短期大学
校(戸澤一光校長)で十月十
九日、学校関係者、高校、企
業の代表など約二百四十人が
出席して、創立十周年記念式
典が行われました。

式典で戸澤校長は、「わが短
大こそ、国の発展にかかわる
原点の一つであるとの自信を
持つて、さらなる発展に向け
て努力していきたい」とあい
さつを述べ、来賓の斎藤博副
知事と佐々木市長が祝辞を述
べました。

五所川原市

新農林水産業賞

表彰式

本年新たに制定された「五所川原市新農林水産業賞」は、永年にわたり農林水産業に精励し、その技術、経営管理が他の模範であるものや、農林水産業に関する研究、指導及び共同事業の推進等に努め、市の農林水産業の振興発展に著しく貢献のあった個人又は団体に贈られるもので、記念すべき第一回の表彰式が十月三十一日、市長公室で行われました。



伊藤 博 治氏

(六十八歳)

市内俵元字松代四六

多年にわたり家業の農業経営に精励するかたわら俵元転作組合長をはじめ数多くの要職を歴任し、また干しもちを市農産物加工特産品として確立され、地域農業の発展向上に尽力されるとともに、五所川原市転作集団連絡協議会の設立以来会長として各転作組合の連携と育成強化を図り、小麦の振興と団地化を推進し農家所得の向上に努力され、転作営農及び本市農業の振興に貢献されました。

和田山蘭の遺墨

二十五点を市に寄贈

山蘭の二男・和田 現あきさん

青森市浪打にお住まいの書家、和田現さん(79)は、十月二十一日、父和田山蘭(歌人・五所川原市松島出身)の



佐々木市長に目録を手渡す澄子夫人

遺墨二十五点(半切十二点、色紙五点、短冊二点、屏風三点、小品三点)を市に寄贈しました。

贈呈式では、澄子夫人から佐々木市長に遺墨寄贈目録が手渡され、佐々木市長は「貴重な遺墨は市の大切な財産として大事に保存し、文化の振興に役立てます」とお礼のこたばを述べ、感謝状と記念品を贈りました。

寄贈された遺墨は市歴史民俗資料館に保管され、一部展示することになっています。

善意の花かこ

——どうもありがとうございます

◎市へ

○東北電力(株)五所川原営業所(藤田亮平所長) || 自動点滅器四十基。

○石黒亮一さん(本町四八) || 市の花「ノハナシヨウブ」の写真他数点。

◎教育振興会へ

○秋田チセさん(一ツ谷一五七・三) || 十万円。

◎社会福祉へ

○(株)中三五所川原店 || 傘他十四点。

川柳

川柳岩木吟社

心からわびる背骨は二回鳴り

一 策

本心が転がり出した酒の席

あきを

二代目に父の功績高すぎる

ぶんじ

ダムかれて父のふる里浮きあがる

峰

荷がついて実感わいた新世帯

すみ子

行商の母は軽々荷を捌き

仁丸

母からの小包み小言そつと居る

雨 読

◇広報十月一日号の表紙及び二、三頁の写真撮影は、越谷喜明氏(市内神山)によるものです。

訪問 町の町の町内

「お年寄りと仲よく」

七和地区高野・すみれ会

町内の踊り好きの人が集まって会を作りました。昭和五十三年のことです。はじめは民謡の手踊りが主でしたが、今では若柳流へと、日本舞踊が主になってきました。

四十代から六十代まで、十七人のメンバーは、昼は農業、夜は週に一度、高野文化センターでの踊りのけいこに出かけます。踊りの発表は今年で三十年間続いている、



勢ぞろい。(これから舞台へ)



敬老会での発表

七和地区の敬老会とか、地区の老人交通安全教室、青山荘の慰問など、地区の老人達との交流会のときです。敬老会では、会員手づくりの、「けの汁」なども出て、お年寄り達は、この日を一番楽しみにして待っているそうです。

この他、年に一度、会員の夫達を招待、夫達から大きな拍手をいただくのも踊る張り合いのひとつか。

「生活が楽しくなりました。衣装を縫ったり、小物を揃えたり、と発表会がある度、ワクワクするんですよ。」と会長の今サカエさん。「踊りも、仕事も、地区の人も、みんないだわしくしていきたい。」と明るく話していました。

緑と私

32

「カラタチ」
(唐橘)



前田フサさん
(田町)

孫が生まれたとき、種で植えたものですが、もう十六、七年になるでしょうか。ずいぶん大きくなりました。

五月頃に咲く白い小さな花は、とても香りがいいんですよ。秋につける小さな実も可愛いですね。生で食べることとはできませんが、綿毛のような手ざわりと、香りがなんとも言えませんね。

日当たりのいいところなら、寒い地方でも、こうして充分育ってくれるんですね。



カラタチ

統計思想の

普及啓発を

第三十三回青森県統計大会

十月十九日、ふるさと交流圏民センターで青森県、五所川原市、青森県統計協会主催の第三十三回青森県統計大会が約六百人の参加者のもと開催されました。

大会では、斎藤博副知事、佐々木市長がいさつを述べたあと、統計調査に功労のあった三十五団体と個人百七十八人に各省庁、県知事、県統計協会などから表彰状が贈られました。



県統計功績者知事表彰を受ける野呂殷文さん

受賞者を代表して五所川原市統計調査員の野呂殷文さんが「今回の受賞で職務の重要性を再認識しました。今後を一層の研さんを積み努力します。」と謝辞を述べ、統計思想の普及啓発を誓いました。当市の受賞者、団体は次のとおりです。

◎各省市表彰

▽文部大臣表彰 市立栄小
学校（学校基本調査、市立中
小学校（学校保健統計調査）
中央小学校（学校保健統計調査）

▽通商産業大臣表彰 興慎
メリヤス株式会社五所川原工
場（生産動態統計調査）

◎青森県知事表彰

▽青森県統計功績者 統計
調査員 表彰 野呂殷文さん
（川端町）石田みつ子さん（雛
田、町屋てつさん（みどり町
一丁目）

◎青森県統計協会会長表彰

▽青森県統計協会功労者
（団体）表彰 五所川原市

＝ご利用ください＝ 交通遺児等 育成資金制度

利用できる方 自動車事故で保護者
を亡くされた子供、または、重度
後遺障害者（自賠責保険の一級～
三級）に認定された方の子供を現
在扶養している保護者

対象者 0歳から中学卒業までの子
供

申し込み者 子供を扶養している保
護者

貸付金額
一時金 149,000円
月額 19,000円

入学支度金 42,000円（小・中学校入学時）

返済方法 最終学校卒業後、割賦（月
賦・半年賦・年賦）による20年以
内の均等返済

※自動車事故により、頭部または脊髄に損傷
を受け、常時介護を必要とする重度後遺障害
者に対しては、介護料支給制度もあります。

＝お気軽にお問い合わせください＝
問い合わせ先

〒030 青森市大字浜田字豊田139-21

自動車事故対策センター 青森支所

☎ 0177-39-0551

いつまでも仲良くお元気で

平成六年度 市合同金婚式

市では十月二十一日、市中
央公民館で結婚五十年を迎え
られた四十八組のご夫婦の皆



頭彰状を贈られる嵯峨さんご夫婦

さんを祝福する合同金婚式を
開きました。

式典で、佐々木市長は「ご
夫婦がお互にいたわり合いご
家庭を円満に築き、子弟の養
育にいそしみ、そして地域の
振興発展に尽くされたことに
感謝します。どうかこれから
も、幸せ多い日々であります
ように。」とお祝いの言葉を
述べ、出席者を代表して嵯峨
幸三郎さん・テイさん夫婦（川
端町）に頭彰状と記念品を贈

りました。

来賓祝辞に続き嵯峨さんが
「夫婦ともども健康に留意し、
地域の発展に貢献していきたい。」とお礼の言葉を述べまし
た。

また、中谷亮一さん・ツヨ
さん夫婦（飯詰）が「結婚五
十年のあゆみ」と題して、結
婚した戦争中の昭和十九年か
らこれまで歩んでこられた人
生を語り、出席者に深い感銘
を与えました。

「わ・五所川原会」

にぎやかに開催

東京都中央区銀座五丁目の「ワシントンアート」を会場に、十月二十二日、首都圏で活躍中の五所川原出身者で結成している「わ・五所川原会」(山本和夫会長)の平成六年度総会が、約百五十人の出席者のもと開催されました。

総会には、佐々木市長、石岡議会議長、小山内助役、川村商工会議所会頭も出席し、会場は、五所川原がそっくり銀座に移行したかのような、津軽弁に花が咲くにぎやかな総会となりました。



会の発展を祝ってバンザイ三唱



市の特産品が当たるビンゴゲーム

山本会長は、「こうしてまた皆さんとお目にかかれて幸福を感じております。これからも親睦を深め、この会が若い人のためになるよう継続、発展させていきましょう」とあいさつを述べました。

「わ・五所川原会」は、五所川原出身者が親睦を深め、故郷を語り、ふるさと発展のために協力したいという思いから昨年十一月に発足したもので、会員も二百人を超えています。

「心のかけはし」第四回看学祭

市立高等看護学院



あなたの健康度は？
「健康チェックコーナー」

五所川原市立高等看護学院学院祭実行委員会(高満タカ委員長)では十月二十九、三十日の両日、働く婦人の家を会場に「心のかけはし」をメインテーマとした第四回看学祭を開催し、大勢の市民でにぎわいました。
会場には血圧、握力、視力

などを測定する健康チェックコーナーや学生自主製作ビデオ放映コーナーなどのほか、三角布を使った簡単な応急手当の実演が行われました。
また、二十九日には青龍寺(青森市・戸崎)の織田隆玄氏が「明るく生きよう」をテーマに、翌三十日には専門学校学生の滝野沢直子さんが「私の歩いた道」をテーマに講演をし、会場を訪れた市民は熱心に耳を傾けていました。

寝たきりは寝かせきりから 介護と保健教室開催

熱心に実技指導を受けるみなさん



地域福祉センターを会場に、簡易保険加入者協会青森健康増進センター主催の寝たきりになったとき困らないための介護と寝たきりにさせない保健教室が十月二十三日、約百名の受講者のもと開催されました。



「寸劇」では看護婦さんも大活躍

健康アドバイザーの相馬ふさ美氏により「必ず通る老いの道」と題した講演の後、保健・福祉サービスについての説明と、昼食を教材とした栄養教室が行われました。
午後からは、西北中央病院看護部・リハビリテーション部の皆さんによる寝かせきりにしないためのわかりやすい介護の「寸劇」や、「おしり関係さっぱり法」などの実技指導が行われ、受講した皆さんはメモを取るなど熱心に聞き入っていました。

家族づれで賑わおう!

第十一回 ごしよがわら 産業まつり



農林産物共進会

市民体育館を会場に、十一月二、三日の両日開催された第十一回ごしよがわら産業まつりは、農林産物共進会や西北五物産観光展、演芸大会、健康いきいきクイズ大会など多彩なイベントが行われ、大勢の家族づれで賑わいました。最終日の三日には農林産物の出品者に対する表彰が行われ、次の方々が表彰されました。(敬称略)

最優秀賞

果樹(りんご) || 石岡哲美(野里) 野菜(ネギ) || 工藤トキコ(浅井) (イチゴ) || 安田正子(野里) 花き(キク) || 今伸寿(中泉)

金賞

果樹(りんご) || 今秀実(持子沢)・三上礼奈(俵元) 野菜(キャベツ) || 奈良利子(田川) (キヌサヤ) || 白戸キミエ(七ツ館) (ホウレンソウ) || 小笠原登貴(鶴ヶ岡) 花き(キク) || 山形隆二(田川) 林産物(きのこ) || 安田勝美(野里) 雑穀(金時豆) || 小田桐富士子(神山)

色鮮やかに咲く菊の花

第1回

ごしよがわら 菊まつり



色とりどりの菊に見入る
市民のみなさん

菊ヶ丘水郷公園と市中央公民館を会場に、十一月一日から三日までの三日間開催された、第一回ごしよがわら菊まつりは、公園いっぱい約二万本の菊が飾られ、市農協花き部会の切り花、五所川原晩香会や五農、羽野木沢小、長橋小の児童生徒が育ててきた大輪の鉢植えなど、会場を訪れた多くの市民は、色とりどりの菊に見入っていました。

平成7年度 母子・寡婦福祉資金(修学資金等) 予約貸付けの受付

▷ **対象者** 経済的に困難な事情にある母子・寡婦家庭で、児童が高等学校・短期大学・大学・高等専門学校及び専修学校等に進学もしくは入学を希望する方。

▷ 提出書類

① 貸付申請書

② 添付書類

- (ア) 貸付申請者の戸籍謄本
- (イ) 配偶者のない女子で現に児童を扶養していることを証明する書類
- (ウ) 進学証明 在学している学校からの進学証明書
- (エ) 支度資金所要額内訳書

※提出書類は、福祉事務所福祉課にあります。

▷ **提出期限** 11月15日～12月19日まで。

▷ **貸付けの仮決定** 平成7年2月末日までに仮

決定し、本人に通知する予定。

▷ 貸付けの本決定と資金の交付

① 修学資金・修業資金

仮決定された人の児童が高等学校等に入学し、在学証明書の提出がなされた方に対し、7年4月中に本決定し同月末日までに資金交付の予定。

② 就学支度資金

仮決定された人で、高等学校等の選考試験に合格し、その合格通知書等により入学が確実になった方について、7年3月中に本決定し同年4月末日までに資金交付の予定。

※詳しいことや書類の提出は、市福祉事務所福祉課(☎35-2111番 内線 286番)へお願いします。

身も心も
さっぱりする **健康相談室へどうぞ**

- ▷ **対象** 五所川原にお住まいの方で、ご自身及び家族の身体ぐあいの事で心配されている方
▷ **内容** 血圧相談、病気の相談、心の相談
健康についての話し
▷ **料金** 無料
▷ **持参するもの** 健康手帳（お持ちの方）
保健婦が相談に応じます

開催場所	開催月日	開催時間	はなしのテーマと時間
幾島町集会所	11月25日 (金)	10:00 12:00	きつとMサイズが きれる (11:30~12:00)
金山昭和館	11月25日 (金)	12:30 14:00	コレステロールと 上手なおつき合い (13:30~14:00)
高野文化センター	11月25日 (金)	11:00 12:30	ひざの痛み (10:30~11:00)
浅井公民館	11月30日 (水)	10:00 12:00	
錦町集会所	12月1日 (木)	9:30 12:00	心筋梗塞から 身を守る (11:40~12:00)
南新集会所	12月1日 (木)	12:30 13:30	尿検査
石田坂集会所	12月5日 (月)	10:30 12:00	
コミュニティセンター中川	12月6日 (火)	10:30 12:00	自律神経失調症かな …と思ったら～自己 を知って予防法を知る (11:30~12:00)
稲実集会所	12月8日 (木)	10:30 12:00	更年期障害を のりきりましょう (10:30~11:00)

平成7年度（4月入所）
保育所入所申請受付

- ▷ **受付期間** 平成6年11月18日（金）から
12月12日（月）まで
※ 上記期間以外でも随時受付いたします。
▷ **受付場所** 市福祉事務所 各保育園（所）
※ 保育園（所）によっては、乳児（0歳児）
障害児（軽度、中度）も入所できます。
※ 現在、数カ所の保育園（所）で定員に余裕
がありますので、今年度中からでも入所でき
ます。
▷ **問い合わせ** 市福祉事務所福祉課
児童係（内線243）

生活講座受講生募集 働く婦人の家

和食テーブルマナー

- ～会席料理のいただき方～
日時 11月30日（水）午後6時半～8時半
場所 五所川原料理学院（弥生町）
講師 山本 淳（五所川原料理学院院長）
定員 15名（申し込み順定員になり次第締め切
らせていただきます） **費用** 5,000円

健康食教室

- ～三世代ふれあい家庭料理について実習と講話～
日時 12月5日（月）昼の部10時～12時
夜の部6時半～8時半
場所 働く婦人の家
講師 白崎 税（五所川原保健所健康増進課主幹）
定員 32人
受講料 無料。但し材料費は各自負担
持参する物 エプロン、三角巾、メモ用具
※両講座共通点
対象者 市内に住所又は勤務先を有する女性
申し込みと問い合わせ
働く婦人の家（五所川原市新町） ☎35-8898

第46回 人権週間

12月4日～12月10日

毎日の生活の中で、何かお困りの時はいつでも
も人権擁護委員、または、青森地方法務局五所
川原支局にご相談ください。相談は無料で、秘
密は厳守します。

当市の人権擁護委員は次の方々です。

氏名	住 所	郵便番号	電 話
対馬 郁夫	五所川原市 松島町7丁目20	037	34-3121
高橋 武一	五所川原市大字 薬川字千年356	037	36-2794
船水 信一	五所川原市大字 飯詰字福泉85-3	037	37-2127
原 芳江	五所川原市 松島町7丁目54	037	35-8590
大村 光子	五所川原市 字旭町2	037	35-6363
山口千代一	五所川原市大字 毘沙門字中熊石211-1	037	36-3938
坂本 憲昭	五所川原市 字錦町1-101	037	34-2293
中川 兵一	五所川原市大字 豊成字田子浦104-3	037-06	29-3073
太田 啓子	五所川原市 みどり町4丁目18	037	34-4274

11月 霜月

お知らせ

市役所 ☎35-2111

すくすく健診

6ヵ月児健診と2歳6ヵ月児健診の際に、母（保護者）と子供さんの歯科健診がありますので、なるべく保護者の方がご同伴くださるようお願いいたします。

▷場所 市保健センター（新町バス停前）▷時間

受付12:30から12:45 ▷持参するもの

母子健康手帳、バスタオル。◎2歳6ヵ月児、

3歳児には個人通知します。◎3歳児健診の場合

は同封のアンケートを記入し、尿を小ビンに入れて持参ください。※注意①3ヵ月児健診に

来れなかった方は、神経芽細胞腫（小児がん）

の検査セットを、母子健康手帳を持参のうえ保健

環境課窓口にもらいにきてください。②病気

療養中（特に伝染性の病気）のお子さんをご遠慮

ください。③不明な点は、保健環境課にお問い合わせ

ください。

月 齢	対象児	期 日	主 な 内 容
3ヵ月児	H6年 8月生まれ	H6年 12月13日 (火)	小児科診察、神経芽細胞腫セット配布、育児情報交換等
6ヵ月児	H6年 5月生まれ	12月19日 (月)	離乳食の試食 母と子の歯科診察 発達相談等
1歳児	H5年 11月生まれ	12月26日 (月)	育児情報交換 発達相談等
1歳 6ヵ月児	H5年 6月生まれ	12月20日 (火) 12月27日 (火)	小児科・歯科診察 丈夫な歯と顎になる ためのお話
2歳 6ヵ月児	H4年 6月生まれ	12月14日 (水)	母と子の歯科診察及 び相談 身体計測
3歳児	H3年 6月生まれ	12月15日 (木)	小児科・歯科診察 尿検査 視聴覚検査等

※尚、今回の1歳6ヵ月児健診は対象児が多いため、12月20日は、旧町内と松島町の子供さん、12月27日は、その他の地区の子供さんの健診日とさせていただきますので、よろしくお願ひします。

乳幼児の発達や育児・悩みごとは保健センター“母と子の相談日(第1・3水曜日)”も御利用ください。

のびのび 赤ちゃん・満1歳



阿部悠一ちゃん（原・山元）

母・洋子さん なんでもよく食べ、とても元気です。このまま健康で、やさしくて思いやりのある人になってほしいですね。

「かんたん！健康レストラン」

受講者募集

寒さも増し、早いものであと1ヵ月でクリスマス。いつもよりもっと楽しくなるような、クリスマス料理を作ってみませんか？

▷テーマ クリスマス料理



対象地区	開催月日	開催場所	締め切り
中川地区	11月24日 (木)	コミュニティセンター中川	11月18日 (金)
飯詰地区	11月30日 (水)	コミュニティセンター飯詰	11月22日 (火)
長橋地区	12月2日 (金)	コミュニティセンター長橋	11月25日 (金)

▷時間 午前9時30分～午後1時

▷料金 無料です。

▷持参する物 みそ汁（おわん半分位の量を汁だけ持参ください）、健康手帳（お持ちの方）エプロン、筆記用具

▷申し込み先 地区の保健協力員へ

平成7年度

看護学生募集

市立高等看護学院

- ▷ 募集人員 40名
- ▷ 修業年限 3年(ただし、第3学年は臨床実習とします。)
- ▷ 入学資格 准看護婦(士)で、次のいずれかに該当する人。
 - (1) 免許取得後、3年以上看護業務に従事した人。
(平成7年3月で3年就業終了見込みの人を含む。)
 - (2) 高等学校卒業者(平成7年3月卒業見込みの人を含む。)
 - (3) 高等学校衛生看護科卒業者(平成7年3月卒業見込みの人を含む。)
- ▷ 願書受付期間 平成7年1月4日(水)～1月12日(木)
(ただし、土・日曜日を除く。)
- ▷ 試験期日 平成7年2月1日(水)
- ▷ 試験科目 社会、国語、英語、看護学、作文、面接
- ▷ 願書受付場所・試験会場及び問い合わせ 市立高等看護学院
布屋町41 ☎34-2715



表紙 「わたしのかぞく」

絵・沖飯詰小学校一年
外崎 未^み来^くちゃん
(川山・森内)

未来ちゃん「学校の遠足で栗ひろいに行ったんだ、とても楽しかったよ。冬になったらお父さんと一緒にスキーに行くんた、待ち遠しいなア。」
お父さん「絵を書いたり、紙で色々なものを作るのが大好きな子です。これからも健康で素直な人になってほしい、と願っています。」

ふるさと交流圏民センター(オルテンシア) 催物ご案内(11月21日～12月5日)

〈大ホール〉

日 曜	催 物	開 演	入 場 料
11/22 火	永井真理子コンサート	18:30	4,500円
24 木	谷川賢作セクステットコンサート	18:30	500円
26 土	エホバの証人の特別1日大会	9:30	無 料
27 日	エホバの証人の特別1日大会	9:30	無 料
12/4 日	奥津軽に“第九”をひびかせる会演奏会	14:00	1,000円 当日1,200円

〈小ホール〉

日 曜	催 物	開 演	入 場 料
11/30 水	市税完納表彰式	13:00	無 料

第2回 青松園祭

テーマ 『飛 翔』

- ▷ 日時 11月20日(日) 午前10時～午後5時
- ▷ 場所 青松園
- ▷ イベント 南部五郎ショー・マジックショー・バザー・模擬店・抽選会(豪華景品あり)
- 送迎バスが出ます
五所川原駅前発 午前10時、正午
青松園発 正午、午後3時
- ▷ 問い合わせ先 青松園(市内金山字千代鶴142) ☎37-3111

特設人権相談所の開設

- ▷ と き 平成6年12月9日(金)
午前10時～午後3時
- ▷ ところ 市内新町「働く婦人の家」
- ▷ 相談担当者 人権擁護委員・法務局職員